

一般社団法人 日本応用地質学会
平成 27 年度・2015 年度
第 4 回国際委員会・IAEG JAPAN 運営委員会議事録(案)

日 時 : 2016 年 2 月 8 日(月) 15:00~17:30

場 所 : 日本応用地質学会 事務局

出席者 : 茶石委員長、尾園委員、近藤委員、伝法谷委員、山下委員、横尾委員、山田幹事
委任状提出: 越谷委員、林委員、百瀬委員

議事:

1. 前回議事録(案)の確認

- ・前回(2015 年 12 月)に開催した委員会の議事録(案)を了承した。
- ・第 10 回アジア地区シンポジウムHPが利用するサーバーは、2016 年 8 月までの契約となっている。
契約更新するか学会 HP のサーバーに移すか、広報情報委員会に対応するが国際委員会でも留意する。

2. IAEG JAPAN運営委員会活動について

(1) IAEG事務連絡

① 2016 IAEG Council Meeting 関連

- ・JapanNG からの出席者の候補を事前に選出する。

② IAEG On Line Survey

- ・2 月末までに、国際委員で各1件を投稿する。

③ IAEG Commission C37 に関する委員参加

- ・1 月末までに日本から委員選出の必要があるが未定。

④ 第 11 回 IAEG アジア地域応用地質学シンポジウム(Asian Regional Conference)

- ・日程;2017 年 10 月 29-31 日(未定)
- ・テーマ:Engineering Geology for Geodisaster Management in Asia
- ・場所;カトマンズ
- ・Council meeting があるかどうかは未定
- ・日本から調査団を結成し参加する。
- ・First announce の 2016 年 9 月頃に計画の検討を開始する。

⑤ マレーシア応用地質学会 設立 50 周年記念 IAEG 会議

- ・日程;2017 年中(未定)
- ・日程;未定(3 日間)
- ・テーマ;International Symposium on Engineering Geology for Urban Sustainability
- ・場所;Kuala Lumpur
- ・日本からの参加を広報する。

(2)国際活動の推進

① 2016-2018年 日本応用地質学会における国際活動の推進について

当面の対応課題について、報告がなされた。

<2016年>

1) Tribhuvan University central Department of Geology から日本応用地質学会への協力依頼の締結

- ・Nepal Tribhuvan University の准教授から会長に打診あり。
- ・2016年1月から応用地質学修士課程がスタートする。
- ・日本応用地質学会に客員教授候補者の推薦などの協力要請あり。
- ・1月8日の理事会で方針を承認→今後は動向を見ながら、国際委員会で協力依頼の内容を検討する。

2) JPGU 5月22日-26日 2016年日本地球惑星科学連合 幕張メッセ

- ・顧問が Landslide 関係の JSEG としてセッションを開催する予定。

3)JSEG 定時総会

- ・6月10日(金) 東大柏の葉キャンパス
- ・理事会、委員会等の体制変更あり。
- ・President of Japan National Group 顧問(案;国際担当)
- ・Secretary General 国際委員長

4)ベトナム NG との合同セミナー

- ・日程;2016年11月24-25日
- ・場所;ハノイ&Halong 湾
- ・テーマ;Large constructions, Climate change adaptation, Geohazards mitigation, Territory and Land use planning
- ・対応者
ベトナム側;Prof. Nguyen Ngoc Truc, Prof. Duc Do Minh(Vietnam National Univ.)
日本側;5月頃まで副会長が対応、その後は国際委員会にて対応予定。
- ・早めにセミナーの内容を決め、両国の対応、準備事項、広報などを行う必要がある。

5) 次回 JSEG 主催の国際会議の開催に向けて

- ・2025年までの開催を想定し、テーマの醸成に向けた研究部会を立上げ(会長提案・理事会承認)
- ・名称案;火山地帯の応用地質研究部会(調査法・災害&防災・建設リスク・地下水・環境・地熱・建設材料など)
- ・国際委員会からも委員を選出する。

<2018年>第13回 IAEG コンgress Council meeting、役員改選

- ・日程;10月頃(未定)
- ・場所;アメリカ サンフランシスコ
- ・2018年の前半までに VP 立候補の事前運動をできるだけ行い、投票なしを目指す。
- ・2017年の Council で個別に紹介するとして日本の候補者決断の時期が Key になる。

協力を得る見通し ○;協力窓口を把握 △同不明

中国	韓国	香港	台湾(未加入)	インド	インドネシア
Wu 氏	○	○	○	Deva 氏	○
イラン	マレーシア	ネパール	ベトナム	SEAGS	シンガポール
△	○	○	○	△	△

② 「国際シンポジウムの開催手引き」について

- ・昨年開催した第 10 回アジア地域応用地質学シンポジウムの運営実績に基づき、今後日本での国際会議開催のために作成された手引き(案)について、説明がなされた。
- ・4 月の理事会(4/22)までに本手引きを完成させるため、次回国際委員会(4 月上旬)で内容をチェックする。
- ・冊子と電子データ(CD)は、学会事務局で管理する。
- ・電子データ(CD)は幹事でも保管する。

3. 学会ホームページ英語版及び国際委員会ホームページについて

学会ホームページ英語版および国際委員会ホームページの更新状況について、確認を行った。

- ・(英語版)学会誌バックナンバーの英文アブスト掲載について、1年以内のもの(3編×6巻=18件)は当 HP にアップロードする。1年を超えるものは、J-Stage へのリンク紹介で対応する。

4. その他

次回委員会(平成 28 年度_第 1 回)は、4月初旬(4/4~8)で開催予定とする。(日程は後日調整)

以 上